

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成27年10月30日

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志

1. 接合金物名称	「シナーコーナー枠材仕様」																
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1																
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。																
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(中柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。																
5. 試験体仕様	1) 接合金物 「シナーコーナー枠材仕様」 材 質：引張強さ590N/mm²以上、降伏点420N/mm²以上の鋼材 試験ではSPFH590(JIS G 3134)を用いた 寸 法：120mm×42mm×30mm(外形) 板厚t=2.3mm 接合具用孔 6-φ6.8mm 表面処理：Z27(JIS G 3302) 相当 2) 接合具 柱側：「木ねじ TBA-120」4本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.18~0.23%, Mn:0.70~1.00%, P:0.030%以下, S:0.050%以下 寸 法：公称径φ6.2mm L=120mm 頭部径φ10.8mm 表面処理：エコート^{*1}WH処理 横架材側：「木ねじ TBA-120」2本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.18~0.23%, Mn:0.70~1.00%, P:0.030%以下, S:0.050%以下 寸 法：公称径φ6.2mm L=120mm 頭部径φ10.8mm 表面処理：エコート^{*1}WH処理 3) 軸組材料 <table border="0"> <tr> <td>柱：105mm×105mm×600mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr> <tr> <td>含水率：8.5~11.5%</td><td>全乾密度：0.38~0.45g/cm³</td></tr> <tr> <td>横架材：105mm×105mm×1000mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr> <tr> <td>含水率：9.0~12.5%</td><td>全乾密度：0.40~0.43g/cm³</td></tr> <tr> <td>枠材：105mm×570mm 厚さ45mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr> <tr> <td>含水率：8.0~13.0%</td><td>全乾密度：0.42~0.45g/cm³</td></tr> <tr> <td>合板：105mm×105mm 厚さ30mm</td><td>構造用合板</td></tr> <tr> <td>含水率：8.5~9.0%</td><td>全乾密度：0.49~0.50g/cm³</td></tr> </table> 3) 軸組材料 柱と枠材の接合：鉄丸くぎN90 11本 *1 エコートは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標	柱：105mm×105mm×600mm	スギ 無等級材	含水率：8.5~11.5%	全乾密度：0.38~0.45g/cm ³	横架材：105mm×105mm×1000mm	スギ 無等級材	含水率：9.0~12.5%	全乾密度：0.40~0.43g/cm ³	枠材：105mm×570mm 厚さ45mm	スギ 無等級材	含水率：8.0~13.0%	全乾密度：0.42~0.45g/cm ³	合板：105mm×105mm 厚さ30mm	構造用合板	含水率：8.5~9.0%	全乾密度：0.49~0.50g/cm ³
柱：105mm×105mm×600mm	スギ 無等級材																
含水率：8.5~11.5%	全乾密度：0.38~0.45g/cm ³																
横架材：105mm×105mm×1000mm	スギ 無等級材																
含水率：9.0~12.5%	全乾密度：0.40~0.43g/cm ³																
枠材：105mm×570mm 厚さ45mm	スギ 無等級材																
含水率：8.0~13.0%	全乾密度：0.42~0.45g/cm ³																
合板：105mm×105mm 厚さ30mm	構造用合板																
含水率：8.5~9.0%	全乾密度：0.49~0.50g/cm ³																
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体の固定：柱芯より横架材両木口側に400mmの位置で角座金W5.0×60及びM12ボルト・M12ナットを用いて鉄骨架台に緊結した。(締付トルク管理値：20N・m)																
7. 試験結果	短期基準接合耐力 10.4 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)																
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター第二試験場：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番																
9. 試験実施日	平成27年10月7日、8日																
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 宇山 善博																

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。